

「コマンドアイ」

—— 様々な事案から災害活動を振り返る

西方面隊

COMMAND EYE

今回のテーマ

特異火災アラカルト

■ はじめに

都市構造の大きな変化に伴い近年、発生する災害形態も大規模化かつ複雑多様化の様相を呈しているなか、全国的にみても化学工場やプラント工場における爆発火災や金属粉が起因している火災が度々発生している。大阪市も例外でなく、亜鉛粉や黄りんなど、防ぎよ活動で特に配慮を要する施設等で火災が発生している。

本稿では、大阪市で発生したこれら特異火災事例を紹介するので、今後の類似災害の参考にさせていただきたい。



建物外観



堆積を崩した亜鉛粉

■ 災害事例①（亜鉛粉）

覚知日時

平成30年4月29日（日）6時6分

発生場所

金属リサイクル工場

焼損程度等

鉄骨造鉄板波板葺スレート張高平家建の工場敷地内において堆積されたステンレス片及び亜鉛粉10㎡焼損。

出場体制

通常第1出場（建物火災）

消火活動概要

亜鉛粉への直接注水を避け、重機により堆積状態を崩し温度低

下を促進

ステンレス片へは散水作業のほか建物への延焼防止を主眼とした噴霧放水を実施

鎮火日時

平成30年5月2日（水）10時27分
（鎮火まで3日4時間21分）

亜鉛粉について

特性（第2類危険物）

空気中の水分や酸と反応し水素ガスを発生、自然発火や粉じん爆発を起こす可能性がある。

対処法

火気、水分を避ける。密栓して保存する。
乾燥砂、金属火災用粉末消火器

■ 災害事例②（黄りん）

覚知日時

平成30年5月16日（水）12時12分

発生場所

リン酸化合物生成工場

焼損程度等

鉄骨造スレート葺スレート張高平家建の工場内において、流出した黄りんの自然発火により内在品焼損

出場体制

通常第1出場（建物火災）
+SR、ASR等特命出場あり